



第1号  
令和3年4月30日  
京都市立上賀茂幼稚園  
園長 下村 貞之

ご入園おめでとうございます。おうちの方も子どもたちもドキドキやわわくが入り混じったスタートだったと思います。少しでも安心した気持ちで、自分の好きなことを見つけたり、友達や先生と一緒に「遊んで楽しい!」と、思ったりできるように支えながら皆さんと一緒に楽しい毎日を過ごしていきたいと思います。

## ばら組

「ダンゴムシがいたよ」「どこどこ?」「この(プランター)下どけてほしい」「いたいた」「あっ、ここはないわ」「まるまった」…ダンゴムシを見つけてから、様々に言葉を発していました。そんな子どもたちのエピソードです。

### 「ダンゴムシの友達が増えた」

一匹見つかり、Aちゃんの手のひらに乗せ、また一匹見つけてAちゃんの手のひらに乗せると、二匹になったダンゴムシをみてAちゃんは、「ダンゴムシの友達が増えた…」と言いました。ダンゴムシは自分たちと同じ感覚でいるのだなと思いました。

### 「静かにしたら起きる」

捕まえると丸まってしまうダンゴムシ。手のひらで動いてほしいのに丸まったままです。「どうしたら起きるかな?」と話すとBちゃんは「静かにしたら起きるで」と話すので「ほな、やってみよう」と、そばにいたCちゃんも一緒に静かにしてみました。すると、動き出したのです。「あっ、起きた!」静かにしていたら本当に起きたので大成功の喜びと少し驚いた様子の二人でした。

風の音しかしないくらいの「静けさ」でした。それくらい「静かにしたら起きるのではないか」と試したい気持ちと、「起きてほしい」という“願い”が込められていたのだなと思いました。

### ダンゴムシの住むところ

ダンゴムシと出会った初日。ダンゴムシの絵本を読みました。飼育ケースに入ったダンゴムシの中には、次の日、残念ながら命がなくなっているものもありました。そんなことから、Dちゃんは絵本にかいてあった「水がいる」ということや「土がいる」とかいてあったことを思い、ダンゴムシのことを思いながら気持ちのいい場所を作ろうとしていました。Eちゃんも「この大きな葉っぱがいいんじゃない?」と仲間に加わりました。そこで私も、“仲間”になって「葉っぱや石もいるってかいてあったね」と一緒に作りました。「これで気持ちよく過ごせるかな?」と見守りながら、次の日も次の日もダンゴムシを捕まえ、“ダンゴムシの仲間”が増え続け、今ではダンゴムシが肩を寄せて過ごす様子が見られています。作戦大成功でした!ダンゴムシのことを思った気持ちが素敵でした。



「ほら、見て」  
ダンゴムシを見つけたよ!



「見せてー!」「何?」  
「どれ?」



ダンゴムシのお家



「(ダンゴムシ)ここに  
いるで」